

フローリング(直貼用)
の施工上の留意点

後藤木材株式会社

岐阜県岐阜市大倉町 12

TEL:058-271-3000

Fax:058-271-3550

【販売代理店】

株式会社 こうけん

鹿児島市田上台 2 丁目 43 番 1 号

TEL.:099-284-7073

FAX:099-284-7080

圧密関係フローリング（直貼用）の施工上の留意点

平成23年12月8日改訂

マイウッド・ツー株式会社

施工手順及び留意点

圧密厚貼フローリング（直貼タイプ）施工手順

- 施工前の下地の点検
施工するモルタル仕上げ面は、緩やかな起伏で凹凸（不陸）は2mにつき5mm以下に調整する。それ以上の凹凸は必ず平滑にする。
部分的な小さな突起（コテによるムラなど）はグラインダーや金ヘラで削り取る。
モルタル下地は施工後、3週間以上経過していることを目安とし、含水率が10%以下になるまで十分乾燥させ、モルタル用水分計で測定して、測定検査成績書を施工者が添付すること。下地に湿気があるとフローリングが湿気を吸収し伸びが生じる。
- 製品の搬入、保管
無垢材の性質上、膨張、収縮を防ぐために開梱した状態で必ず一週間以上放置し、十分に施工現場環境に馴染ませる。
保管は直射日光や雨水のかからない屋内の乾燥した場所に台や栈木を介して水平に置く。搬入時の取り扱いは丁寧かつ慎重におこなうこと。
- スギ圧密厚貼フローリング（直貼タイプ）は接着剤のみで施工する。
接着剤(JIS A5536)エポキシ系 2液型（推奨：セメダインEP-425、オーシカEP-72F）
接着剤は専用クシ又はヘラを用いて、接着剤を全面に均等に延ばした上に、フローリングを平滑に貼る。
木材の吸湿による膨張を考慮して、フローリングの長さ方向、幅方向とも目地は接着・密着させず、スキマゲージなどで十分でかつ均等な間隔を開ける。
目安として常時、空調装置が作動している場所に使用するフローリングは、長さ方向、幅方向ともに0.3mm程度の間隔とし、比較的外気の影響を受けやすい、場所には、長さ方向、幅方向ともに約0.5mm程度の間隔を開ける。
壁際部分は、湿気による突き上げの起こるおそれがあるため10mm程度隙間を取る。
間隔部はクッション材又はシリコン等で充填する。
天然木材を使用しているので一枚ごとに色柄が異なるので施工前に仮ならべを行い、色柄のバランスを考慮して割り付ける。

- 養生

フローリング張り込み時に使用した接着剤を十分乾燥・固化させるため、床貼り終了後、1週間程度の養生をおこなう。

施工後は傷や水濡れから床を守るため、床をきれいに清掃し養生シートを養生テープで止めて十分に養生してください。

養生シートの上からペンキや雨水等がかかるとシミになることがありますので注意してください。

養生シートは必ず養生専用シートを使用してください。

養生テープは使用しないでください。**(注!! 自然塗料塗装品及びウレタン塗装品は基材を傷付ける場合がありますので使用しないで下さい!)**

シート、テープは養生専用の物意外を使用すると、床材表面を傷めたり、変色、ワックスのはじきを生じたり、粘着剤が残るので注意する。

内装工事や電気、水まわり等の設備工事が全て終わり、道具や脚立を持ち込まなくなってから養生シートを取り外してください。

施工後は、換気を十分にしてください。高温多湿の状態で締め切っていますと、床材の突き上げの原因になることがあります。

養生期間が長期間になる場合は、吸湿などにより膨張する恐れがあり、その状況下における適切な処置をすること。

フローリングのご使用時の注意点

1. 室内に余分な土やホコリ及び水分を持ち込まないよう、屋外に面した出入り口には防塵マット等を設置して下さい。常時水がかかる恐れがある浴室の入口や洗面所等は、水切りマットのご使用をお勧めします。水に濡れたまま放置することでシミや変色だけでなく、カビの発生やフローリングの膨張による膨れや反りの原因となります。
2. 重量物の搬入・搬出の場合、フロー表面の損傷を防ぐために、合板等で床面を保護して下さい。
3. フロー表面に傷がついて木部が見える場合、傷が小さければ、市販のウッドパテ等で補修してください。傷が大きい場合は、手直しが必要です。この場合、専門家に相談ください。

以上